

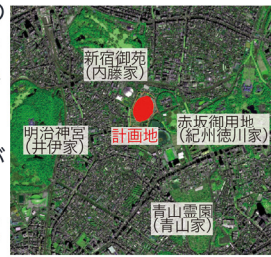
5 | 歴史と自然の分析と計画方針 - エコロジカルプランニング -

1 外苑の歴史と自然を踏まえた外構計画方針

地域の気候風土に適した樹木を中心に、都心の緑地ネットワークに寄与する豊かな緑地を、外苑の緑と一体的に構築します。外苑の周縁部としての濃い緑、土地の歴史を表現するせせらぎや草地など、地域と調和する環境を創出します。

【広域】 緑のネットワークへの寄与

- 計画地は、江戸時代は大名の屋敷であった敷地を中心とした大規模緑地に囲まれた、都心でも緑に恵まれた立地です。
- 大規模緑地には多様な生物が生息しており、計画地はこれらを繋ぐ緑のネットワークを形成する上で重要な場所となっています。



計画地周辺広域の緑のネットワーク (出典) World View 2 撮影日: 2012.04.07

【中域】 明治神宮外苑の造営時の思想の継承

- 荘重な杜の内苑に対して、明治天皇を偲ぶ明朗な記念園、現代的庭園として、国民からの寄付、献木、奉仕活動等で整備されました。体力向上や心身の鍛錬場として、スポーツ施設が奉献されています。
- この庭園としての緑地は、中央に芝生の広場を配置し、外周部に向かって樹木による緑が濃くなる、緑に囲まれた構成となっていました。



初期の明治神宮外苑 (引用) 明治神宮外苑誌、明治神宮奉賛会、1937

【狭域】 計画地に適した自然植生への配慮

- 計画地の気候風土に適した潜在自然植生はスダジイ-ヤブコウジ群集です。計画地周辺の代表的な代償植生としては、コナラ-クヌギ群集等のコナラ林が考えられます。



潜在自然植生図 (出典) 植生調査報告書 昭和62年3月 付表 東京都の植生、東京都環境保全局自然保護部、1987

【広域】 失われた水のネットワーク 渋谷川の再現

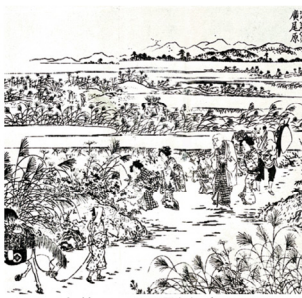
- 玉藻池(新宿御苑)や玉川上水を水源とし、農業の他、水車にも利用された川でした。支流の河骨川は唱歌『春の小川』の原風景と言われています。
- 計画地付近では新宿区と渋谷区の境界を流れていましたが、前回のオリンピック時に暗渠化されました。



かつての渋谷川の流路 (引用) 区制70周年記念 図説渋谷区史、渋谷区、2003

【中域】 外苑付近の江戸以前の風景の再現

- 青山練兵場の設営以前は、「一面美しき草の野原」でした。江戸時代に行楽地として知られた広尾ヶ原にその原型が窺えます。
- 江戸時代の霞ヶ丘は周りより標高が高く、計画地に幕府の焔硝蔵(えんしょうぐら)が置かれ、人が住む里となっていました。



武蔵野の面影を留める野原(広尾ヶ原) (引用) 描かれた港区 下、港区立三田図書館、1972

【狭域】 計画地に隣接する明治神宮外苑の緑地との調和

- 隣接地には、ケヤキやスダジイ、クスノキの森の他、ヒマラヤスギ林など様々なタイプの緑地が存在しています。
- 既存緑地と調和のとれた緑地環境の形成が重要です。
- 例: 絵画館北西側の緑地



高木層: 15m~ ケヤキ、スダジイ、クスノキ、シラカシ、メタセコイヤ、エノキ
亜高木層: 5~7m スダジイ、サンゴジュ、モッコク
低木層: 3m内外 ヒサカキ、サザンカ

2 植栽計画: 植生・階層に基づく計画と移植木の活用方針

「大地の杜」

- 移植木の過半は、常緑樹は地域の潜在自然植生(スダジイ-ヤブコウジ群集)を、落葉樹は、武蔵野の里山に見られる代償植生(コナラ-クヌギ群集)を構成する樹木となっています。
- 一部の移植木は在来種ではありませんが、外苑の造園思想を継承し、景観をなじませる意図から移植を行います。
- 移植木のうち比較的活着の良い落葉樹のみを人工地盤上に、それ以外は大地に移植して健全な生育に配慮します。天然記念物のスダジイは大地の緑地内に移植します。

移植木(常緑樹)リスト (天然記念物のスダジイを除く)

樹種	潜在自然植生との合致	樹高ごとの本数				
		~4m	4~6m	6~8m	8~10m	10m~
アカガシ	○					
キンモクセイ		5	12			
クスノキ				1	1	1
クロガネモチ				2		
クロマツ			1		1	3
サカキ	○			1		
サザンカ	○	1	3			
サンゴジュ	○			1		
シラカシ	○		1	2		
スキ			1			
スダジイ(シイノキを含む)	○		2		3	
タイサンボク	○					1
タブノキ	○			1		
ツバキ(ヤブツバキとして)	○	3	7			
ヒサカキ	○	1				
マデバシイ	○				1	
モチノキ(モチを含む)	○	7	29	3		
モッコク	○	10	11	2		
計17種		27	67	13	6	6

移植木(落葉樹)リスト

樹種	代表的な代償植生との合致	樹高ごとの本数				
		~4m	4~6m	6~8m	8~10m	10m~
アキニレ					1	2
イチヨウ			1	3	3	1
イヌシテ	○					
イロハモミジ	○	7	22	10	6	4
エゴノキ	○			1	1	
ケヤキ	○				1	3
コナラ	○		2		2	6
コブシ	○			1		
シンジュ	○					2
トウカエデ			1			
ヤマザクラ	○		2	1		2
ヤマボウシ	○	1		2	2	
計12種		8	28	12+14	10+5	2+14

※最終的な移植については、施工時に樹形、樹勢をふまえて評価を行いながら、移植の可能性について協議させていただきます。

「空の杜」

- 周辺地域に見られる植生から、多様な立地環境に適応可能な種類の植物を中心に選択して緑地を構成し、地域の自然を感じられる彩り豊かな空間を創出します。

樹木・草本リスト

特徴	分類	種類
A 木漏れ日や季節を感じる木立	中木	モッコク、ソヨゴ、ヤブツバキ(冬)、エゴノキ(春)、イロハモミジ(秋)、ガズミ(夏)、等
B 遠目に楽しむ	低木	アオキ、イヌツゲ、サザンカ(冬)、ヤマツツジ(春)、ムラサキキギヤ(秋)、ヌスビトハギ(秋)、等
C 少し背の高い花や低木	草本	ジャノヒゲ、ベニシダ、ジュンラン(春)、ヤマユリ(夏)、オオバギボウシ(夏)、ススキ(秋)、等
D 歩いて楽しむ背の低い花や草本	草本	テイカカズラ、ヤブコウジ、ヤブラン、キツネノカミソリ(夏)、チゴリ(春)、リンドウ(秋)、等
E 下垂可能な在来種	低木	ハイネズ、ハイビヤクシン、オオシマカンズグ、ツバナクツギ(夏)、ハギ(秋)、等

(A)東・北側ゾーン(常落混交3,700㎡)

高木
常緑:スダジイ、アカガシ等(1本/100㎡程度)
落葉:イヌシテ、ケヤキ等

亜高木
モチノキ、モッコク
ヤブツバキ等
(2本/100㎡程度)

低木
サザンカ等
(2本/100㎡程度)

竣工時の樹高	常緑樹		落葉樹	
	移植	新規	移植	新規
10m~	6	-	2	-
8~10m	6	-	10	-
6~8m	13	-	12	4
4~6m	67	50	-	-
~4m	27	-	-	-

(B)単独木・南側ゾーン
(落葉中心、58本)

高木
クヤキ、ムクノキ、
エノキ、コナラ、
ヤマザクラ等

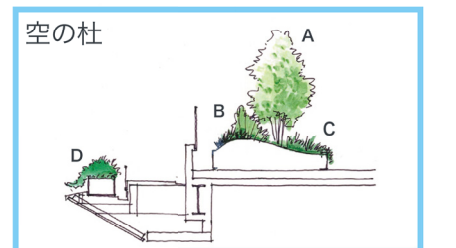
※本ゾーンに防風植栽を含む

竣工時の樹高	常緑樹		落葉樹	
	移植	新規	移植	新規
10m~	-	-	14	12
8~10m	-	20	5	7

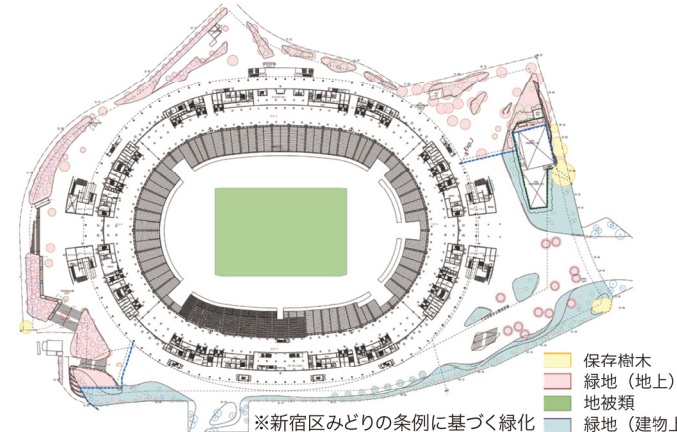
(C)西側ゾーン(常落混交、196本)

亜高木
イロハモミジ、コブシ、
ヤマボウシ、コナラ、
イヌシテ等

竣工時の樹高	常緑樹		落葉樹	
	移植	新規	移植	新規
6~8m	-	-	14	-
4~6m	-	-	28	-
~4m	-	130	8	16



3 緑化計画図(参考) ※数値については提案時の数値により設計段階において変動する可能性があります



東京都再開発等促進区を定める地区計画運用基準

- 緑化基準: (規定値×40%) 2,773㎡
- 緑地面積: 3,738㎡OK

新宿区みどりの条例に基づく緑化基準

- 緑化基準: (規定値×35%) 16,336㎡
- 緑地面積: 16,391㎡OK

東京都風致地区条例に基づく緑化基準

- 緑化基準: (規定値×10%) 11,304㎡
- 緑地面積: 11,314㎡OK

4 有効空地(参考) ※数値については提案時の数値により設計段階において変動する可能性があります

凡例

色	係数	特例倍率
青	1.0	1.2
黄	1.0	1.2
緑	0.8	
赤	0.8	1.2
紫	0.8	
茶	0.6	1.2
黒	0.6	
白	0.4	1.2
黄	0.4	

有効空地面積
合計: 47,666.97㎡

有効空地率
47,666.97㎡ ÷ 113,609.65㎡ = 41.95%

1階 ≥ 40.00% OK